

## 1 機能

イメージブリッジは、デュールデンタル社のイメージングプレートスキャナー(VistaScan、VistaRay、VistaCam)を他社製ソフトウェア(Sidexis等)で使用するためのプラグインです。

## 2 インストール

### 2.1 最低条件

他社製ソフトウェア	SidexisXGバージョン2.3以上 VixWinProバージョン1.5以上 VixWinPlatinumバージョン1.1以上
パソコン条件	DBSWIN取扱説明書に明記の必要となるパソコン条件

### 2.2 前提要件

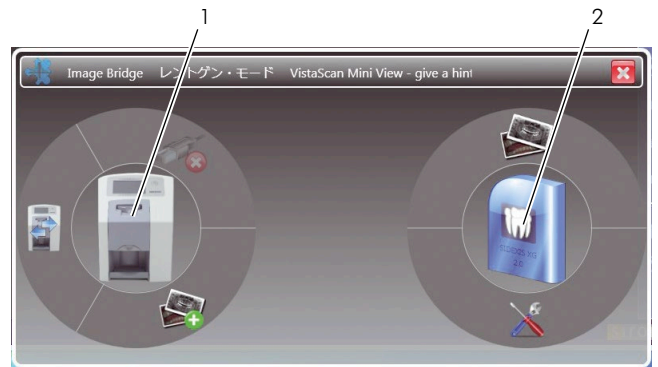
下記のソフトウェアがインストールされていることを確認してください：

- 他社製ソフトウェア(2.1の条件を満たすもの)
  - VistaEasyバージョン5.10。(VistaEasyはDBSWINDVDディスクよりインストール可能です。)
- デュールデンタル社のイメージングプレートスキャナーがPCに正しく接続され認識されている必要があります。

### 2.3 イメージブリッジのインストール

- DBSWINのDVDディスクをコンピュータのドライブに挿入します。  
起動ウィンドウは自動的に開きます。  
DVDが自動的に起動しない場合はDVDの[CD\_Start.exe]を実行します。
- タブの「ドライバー&プラグイン」を選択します。
- 「イメージブリッジプラグインのインストール」をクリックします。
- メッセージ「イメージブリッジがインストールされます」と表示されるので「OK」で確定します。
- インストールウィザードでインストールを実行します。  
インストール時にイメージングプログラムに2つのプラグインが自動的に追加されます：
- VistaScanとVistaRay用「イメージブリッジXray」
- VistaCam用「イメージブリッジビデオ」

## 3 ホーム画面



- 1 選択されたデバイス(VistaScanMini等)
- 2 他社製ソフトウェア(Sidexis等)

### 3.1 ボタン



#### デバイスの選択

このボタンは常に前回選択したデバイスを示します。



#### 画像の撮影

スキャンまたはビデオのダイアログボックスを開きます。



#### 撮影した画像の表示

プラグインが起動してから作成したすべての画像を表示します。



#### 設定

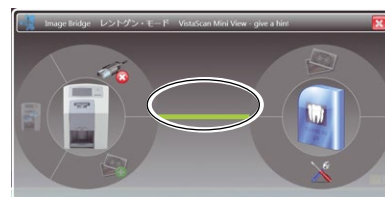
イメージブリッジの設定



#### デバイスへの接続を中断

デバイスへの接続を終了し、スキャンまたはビデオのダイアログボックスを閉じてください。

イメージングプログラムとデュールデンタル社のイメージングプレートスキャナーが正しく接続されているときは、緑の接続線で示されています。



## 4 アプリケーション

### 4.1 イメージブリッジの起動

イメージブリッジインストール後、他社製ソフトウェアでイメージブリッジ起動ボタンが追加されます。

- 他社製ソフトウェアの仕様によって、まずは患者カルテを選択します。
- 他社製ソフトウェアより追加されたイメージブリッジ起動アイコンを選択します。

Sidexisのイメージブリッジ起動アイコン

イメージブリッジ Xray ツール>プラグイン>イメージブリッジXrayモード



イメージブリッジビデオ ツール>プラグイン>イメージブリッジビデオモード



Vixwinのイメージブリッジ起動アイコン

イメージブリッジ Xray 外部プログラム>DuerrXray



イメージブリッジビデオ 外部プログラム>Duerrビデオ



### 4.2 イメージブリッジの設定

**i** 設定は、使用している他社製ソフトウェアに応じて異なります。

- 設定ボタンをクリックします。「設定」ウィンドウが開きます。



- 設定を行います。

次の設定を行うことができます：

「レントゲン画像を16 レントゲン画像のグレースケール範囲の縮ビットでなく8ビットで 小(Sidexisのみ) 転送」

「デバイスの選択方法」 プラグインの起動時に、特定のデバイスを事前選択するかどうかを選択します

「クイック起動を使用する」 イメージブリッジは起動時に直接スキャンまたはビデオのダイアログボックスを開きます。ダイアログボックスが閉じる時にイメージブリッジは自動的に終了します。

「画像取得ダイアログに 画像に歯/オブジェクトタイプを直接割り当てることができます(Sidexisのみ) 歯番選択を表示」

「言語」 言語を選択します。

「使用不可能な デバイスを非表示」

オフまたは接続されていないデバイスは、選択には表示されません。

「画像取得時にメインダ メインウィンドウはスキャン中に最小化され、スキャンが終了すると再び最大化されます。

スクリーンを縮小) タスクバーを使用して再度最大化することもできます。

### 4.3 デバイスの選択

- ボタン「デバイスの選択」をクリックします。デバイスを選択するためのダイアログボックスが開きます。



- 1 選択したデバイスの画像
- 2 デバイスの選択
- 3 デバイスの接続
- 4 デバイスの名称
- 5 デバイスの状況(使用可能/使用不可能)

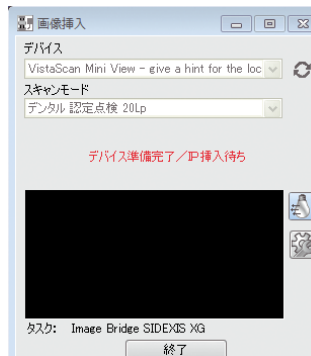
「デバイス」をクリックするとデバイスが表示されます：



- 「デバイス」を選択します。
- リスト「スキャンモード」からモードを選択します。
- 「デバイス」をクリックし、ウィンドウを閉じます。

### 4.4 VistaScan/VistaRayでレントゲン画像を撮影

- イメージブリッジXrayを起動します。
- デバイスが選択されていない、または間違っただけの場合は、正しいデバイスを選択します。
- 「画像の撮影」をクリックします。スキャンのダイアログボックスが開きます：



画像消去の選択 (消去する/消去しない)

トラブルシューティング

- 画像データを読み出します(イメージングプレートスキャナーの取扱説明書を参照)。画像データは自動的に他社製ソフトウェアに転送されます。
- 「画像取得ダイアログに歯番選択を表示」を使用しない場合、撮影ウィンドウが開きます：



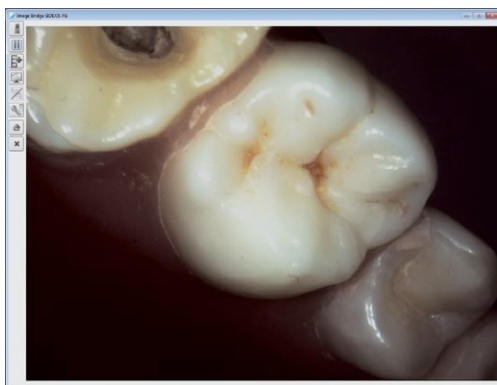
- 「画像取得ダイアログに歯番選択を表示」を使用する場合、マウスポインターを「歯番の選択」に移動して選択します。








- 必要に応じて、いくつかの画像を読み込んでください。
- スキャンのダイアログボックスを閉じます。
- イメージブリッジを終了するには、ホーム画面左上の終了アイコンをクリックします。
- 画像がイメージブリッジに保存されます。





#### 4.5 ビデオの撮影

- イメージブリッジビデオを起動します。
- デバイスが選択されていない、または間違ったデバイスが選択されている場合、正しいデバイスを選択します。
- 「画像の撮影」をクリックします。ビデオのダイアログボックスが開きます：



ボタンを使用して次の操作を実行することができます：

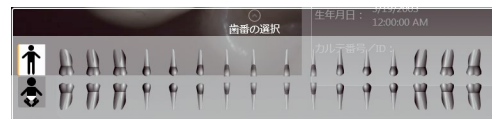
-  ビデオソースを選択します。標準では、最後に使用されたビデオソースが選択されます。
-  ライブモードに切り替えます。カメラはフリーズモードです(静止画)。
-  フリーズモードに切り替えます。カメラはライブモードです(動画)。
-  画像を撮影します(手動解除かフットスイッチを選択)。
-  全画面モードを呼び出します。

-  予防/虫歯のフィルターを選択し、使用します(VistaProofでのみ使用可能)。ボタンは、ビデオ画像がフリーズモード(静止画)で表示される場合にのみ、使用可能です。標準では、虫歯ビューは使用可能です。
-  カメラの設定を行います：「ビデオ設定」と「プロファイルのアクティブ化」(手動解除のカメラのみ可能)。
-  画像復元(5.3一時的なバックアップを参照)
-  撮影を中断し、プレビューウィンドウを閉じます。

- 動画を撮影します。動画データは自動的にイメージングプログラムに転送されます。
- 「画像取得ダイアログに歯番選択を表示」を使用しない場合、撮影ウィンドウが開きます：



- 「画像取得ダイアログに歯番選択を表示」を使用する場合、マウスポインターを「歯番の選択」に移動して選択します。



- 必要に応じて、いくつかの動画を撮影してください。
- ビデオのダイアログボックスを閉じます。
- イメージブリッジを終了するには、ホーム画面左上の終了アイコンをクリックします。
- 画像がイメージブリッジに保存されます。

#### 4.6 撮影した画像の表示

プラグインを起動してから撮影したすべての画像は、再度見ることができます。これらの画像はすでに他社製ソフトウェアに転送されています。

- 「撮影した画像の表示」をクリックします。ウィンドウ「撮影した画像」が開きます：



- マウスポインターを「転送済みの画像」に移動し、画像を選択します。選択した画像はウィンドウに表示されます。
- ウィンドウを閉じるには、「閉じる」をクリックします。

## 5 ヒントとトリック

### 5.1 「クイック起動」の使用

「クイック起動」は、プラグインの起動時にスキャン/ビデオのダイアログボックスを直接開き、ダイアログボックスが閉じる時にイメージブリッジを自動的に終了します。これらの設定は、同じデバイスで常に作業している場合に迅速なアクセスをサポートします。

- クイック起動を使用する場合は、設定にてチェックを入れてください。
- 「デバイスの選択方法」では「前回使用したデバイスを」を選択します。

**i** 「クイック起動」は、タスクバーの情報エリアのアイコンでアクティブ/非アクティブにすることもできます。

### 5.2 プログラムのクラッシュ後に画像を転送

プログラムのクラッシュにより、イメージブリッジが画像データをイメージングプログラムに転送できない場合、データは一時的なバックアップに保持されます。

- 他社製ソフトウェアを起動します。
- 画像を割り当てる患者カルテを選択します。
- イメージブリッジを起動します。  
撮影ウィンドウが開き、転送されていない画像を示します。



- ウィンドウを閉じます。  
イメージブリッジは画像を他社製ソフトウェアに転送します。
- 画像がイメージブリッジに保存されます。

### 5.3 一時的なバックアップ

イメージブリッジで作成したすべての画像は14日間保存され、他社製ソフトウェアに再転送することができます。患者への割り当ては保存されています。

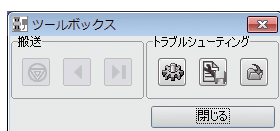
各モード(レントゲン画像またはビデオ)の画像のみ復元することができます。

ビデオ画像の画像復元を開く

- ビデオダイアログボックスの「画像復元」をクリックします。

レントゲン画像の画像復元を開く

- スキャンダイアログボックスの「トラブルシューティング」をクリックします。



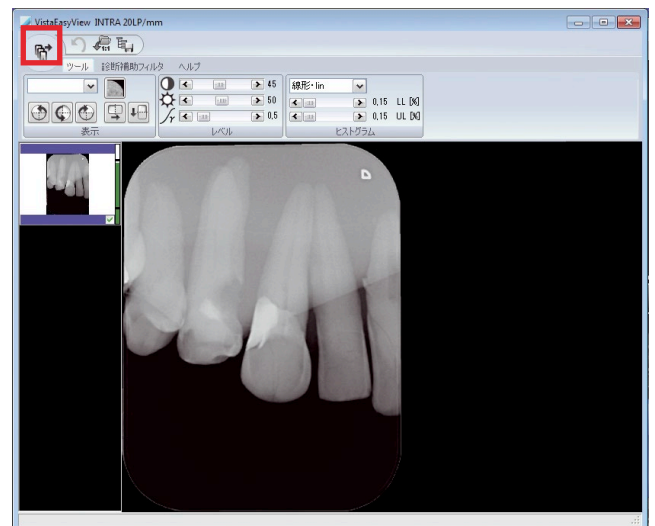
- 「画像復元」をクリックします。

## 画像の復元



**i** 他のモード(レントゲン画像/ビデオ)の画像は非アクティブ(グレー)で表示されます。これらの画像を復元するには、モードを切り替えます。

- 1枚また複数の画像をマークします。
- 「画像復元」をクリックします。  
VistaEasyViewが開きます。



- 右上の転送をクリックします。  
画像はイメージングプログラムに転送されます。